

【エクアドル内政・外交：2023年11月】

1 内政

(1) 国会開会

17日、8月20日の国会議員選挙及び10月15日の一部やり直し選挙の結果当選した国会議員出席の下、国会が開会した。国会議長には、中道右派・キリスト教社会党(PSC)のヘンリー・クロンフレ議員が選出された。

(2) ノボア大統領就任

23日、ノボア大統領の就任式が国会で開催された。同大統領は演説において、女性や若手を多く採用した自身の内閣について言及し、若さは治安悪化をはじめとしたエクアドルが抱える社会問題の解決に必要な強さである旨強調した。大統領就任式には、ペトロ・コロンビア大統領ほか、各国要人が出席した(副大統領:ブラジル、ホンジュラス、国会議長:アルジェリア、外務大臣:ペルー、コスタリカ、パナマ、ハイチ、法務大臣:チリ、高等教育大臣:キューバ等)。

(3) 副大統領の任務

24日、ノボア大統領は、イスラエル・パレスチナの和平構築にエクアドルとして貢献することを目的として、アバッド副大統領をイスラエルに「平和大使(Embajadora en Paz)」として常駐させる旨発表した(大統領令第27号)。

(4) 緊急経済法案

28日、ノボア大統領は就任後初の緊急経済法案となる経済効率化・雇用創出法案を国会に提出した。同法案はノボア大統領が選挙公約として掲げていた雇用創出の実現を図るものであり、税制改革、自由貿易区の設立、官民連携促進機関の創設等がその主な内容となっている。

2 外交

(1) 中東情勢に関する外務省声明

1日、エクアドル外務省は、中東情勢に関する声明を発出した。主な内容は次のとおり。

- ・10月31日のガザ地区ジャバリア難民キャンプに対するイスラエルの爆撃に深刻な懸念を表明し、犠牲となった市民の家族に哀悼の意を表する。
- ・国連及び紛争地域への人道支援物資の搬入を行う関係者の努力を評価し、ガザ地区の市民の絶望的な状況を改善するために必要な物資が届けられるよう要請する。

(2) ノボア次期大統領の外遊

10月19日～11月8日にかけて、ノボア次期大統領がコロンビア、スペイン、イタリア、米を訪問し、各国の関係機関と治安対策や経済活性化等に関する協議を行った。

・コロンビア(10月19日)

10月19日、ノボア次期大統領は欧州訪問前にコロンビアを訪問し、アルバロ・レイバ外相と会談した。

・スペイン(10月20日、11月3日)

10月20日、ノボア次期大統領はマドリードにおいて、イベロアメリカ経済協議会及びスベ

イン経済団体連合会の代表らと面会し、エクアドルへの投資促進等について意見交換を行った。

11月3日、スペイン・サッカーリーグ(リーガ・エスパニョーラ)のテバス会長と面会し、将来的な協定締結に向けた覚書を交換した。また、同日、フェリペ6世国王陛下との昼食会に出席し、両国関係等について意見交換を行ったほか、マドリッド州より、同州最高位の国際勲章を授与された。

・イタリア(10月21日～11月2日)

10月23日、ノボア次期大統領はイタリア・ラテンアメリカ協会(IIIA)のカバリ事務局長と面談し、犯罪組織対策、マネーロンダリング、刑務所管理等の治安分野における協力について協議を行った。

・米(11月4～7日)

11月5日、ノボア次期大統領は世界銀行(ハラミージョ・ラテンアメリカ・カリブ海地域担当副総裁)、IMF(バルデス西半球局長)、OAS(アルマグロ事務総長)幹部と面会、また、7日には、ニューヨークで約100名の投資家らと面会、エクアドルへの投資誘致を行うとともに、今後の経済政策を紹介した。

(3) サマンサ・パワー米国際開発庁(USAID)長官のエクアドル訪問

9日、ラッソ大統領はエクアドルを訪問したパワーUSAID長官の表敬訪問を受け、犯罪や暴力と闘うための治安協力等について意見交換した。

(4) メキシコとの自由貿易協定交渉

14日、ロペス・オペラドール墨大統領は、訪問先の同国シナロア州において、エクアドルとの貿易協定には署名しない、なぜなら、エクアドルは(同協定の中に)マグロとエビを含めようとしており、シナロアの漁業者の利益を確保するためだ、と述べた。これに対し、レガルダ生産貿易投資漁業大臣は、メキシコはエクアドルに対し、本貿易協定に関するいかなる通達も行っておらず、まだ(同協定の締結に向けた)プロセスは開かれたままであると認識している、とエクスプレソ紙の取材に応じた。

(5) 欧州刑事警察機構(Europol)との協力

20日、エクアドル内務省は、Europolとの間で、治安分野の協力を進めていく合意文書に署名した。その協力の中には、警察官の合同訓練、情報交換、技術支援等が含まれる。(了)